

社会福祉士養成における実習指導者養成に関する一考察

- 「社会福祉士実習指導者講習会」の現状と今後の課題 -

○ 東北福祉大学 佐藤 博彦 (5895)

[キーワード] 社会福祉士実習指導者講習会、社会福祉士養成、実習指導

1. 研究目的

「社会福祉士実習指導者講習会」(以下、講習会)は、平成21年「社会福祉士及び介護福祉士法」の一部改正の前年より「社会福祉士養成における実習指導者養成」を目的とし開催されている。

講習会の講義科目は、「実習指導概論」(講義2時間)、「実習マネジメント論」(講義2時間)、「実習プログラミング論」(講義3時間)、「実習スーパービジョン論」(講義・演習7時間)で構成されている。

本研究では、その講義科目のひとつである「実習スーパービジョン論(講義・演習)」(以下、「実習スーパービジョン論」という)を中心に、講習会において、実習指導者が実際に学び修得した内容が、実習指導を行なう際に活用されているのか。また講義内容を参考にしながら実習指導が行われているのかどうか。実習生においては、実習指導者の指導内容(実習スーパービジョンを含む)を理解しているのかどうかを把握分析することとする。

そして、今後の講習会開催における「実習スーパービジョン論」演習内容の内容修正、また、実習機関・実習生・養成校間の「実習スーパービジョンの二重構造」(公社)日本社会福祉士会編 2014:251-252)に基づく、更なる連携強化の方向性を見出すことを本研究の目的としている。

2. 研究の視点および方法

(1) 研究の視点

下記1)～3)の現状を明らかにし、講習会において修得した内容がどの程度実習生に対して活用されているのか、また、実習生自身は実習において修得すべき内容をどの程度理解できているのかどうかを分析することにより、講習会の講義内容の変更の必要性に関して検討し、実習施設および養成校の今後の社会福祉士相談援助実習体制の確立の方法を探る。

1) 事前訪問時における「スーパービジョン契約」について 2) 「実習プログラム」の必要性・重要性に関して 3) 「スーパービジョン」の理解度について

(2) 方法

上記内容について、「社会福祉援助技術実習」を実施した学生に対しアンケート調査を実施、現状を明らかにしその分析を行なった。

※対象者 総数 166 人 (男 73 人 女 90 人) 無回答 3 人

平成27年度「社会福祉援助技術実習」を実施(終了)した通信教育課程学生

3. 倫理的配慮

日本社会福祉学会の倫理指針に基づき実施した。個人名、実習先施設名も一切特定できないよう配慮した。

4. 研究結果

(1) 「スーパービジョン契約」について（事前訪問時におけるスーパービジョン）

「事前訪問時」については、9割以上の指導者が実施し、実習開始前15～30日前に開催されているのが4割強であった。また、実習指導者自身の「経歴の説明」があったのが6割弱、「スーパービジョン」の知識の確認があったのは、2.5割で、その経験の確認については、2割弱であった。講習会でのロールプレイの内容があまり行われてはいないという結果であった。

(2) 「実習プログラム」に関して

「実習プログラム」の提示は、8割近くあったが、「実習プログラム」と「実習計画書」の「すり合わせ」があったのは6割であった。また、その提示も「事前訪問時」が3割強であり、実習開始初日の提示というのも4割という結果であった。

「実習プログラム」の内容について、7割近い実習生が満足したという結果であった。

(3) 「スーパービジョン」に関して

実習を行なうにあたり、6割以上の実習生が一定以上の事前学習を行ない、8割以上が一定以上の知識を備えていたと回答、また、実習期間中に実習指導者から受けた「スーパービジョン」の頻度は、「毎日」が3割弱であった。しかし、「ほとんど受けていない」「期間中2～3回」という回答も2割近くあった。

5. 考察

今回の分析を通して、講習会で修得した内容が確実に活用されているとは言い難いという結果になった。これらを改善するために、今後の課題としては、制度上の人員配置基準の変更が必要である。実習指導者が日々の業務において、業務を遂行するだけで余力がないのであれば、実習生の指導は困難である。余力のある人員配置数においてこそ、その指導はより確実になる。

次に、講習会の講義内容の見直しの必要性である。「実習プログラミング論」における「プログラム作成演習」の追加である。「実習プログラム」は、実習生の実習時の「指針」となるものである。プログラム作成については、講義形式だけではなく、作成方法を演習形式で修得すべきである。また、「実習スーパービジョン論」の演習時のロールプレイに関しても、「事前訪問」時だけではなく、実習中の具体的場面を想定したロールプレイの設定が必要である。以上の結果を基に、具体的内容を今後検討していく。

【参考文献】(公社)日本社会福祉士会編(2014)『社会福祉士実習指導者テキスト第2版』中央法規出版, P251-252